

3年「3けたのたし算とひき算のひっ算」 8/11時		4年「わり算の筆算」10/14時	
<p>本時のねらい 1000から何百何十をひくという計算の原理や方法を、今までに学習したことなどを使っていろいろな考え方を出し合い比べ合う中で理解し、計算することができる。</p>		<p>本時のねらい 3位数÷1位数のわり算で、商が2位数になる場合の計算原理や方法を、今までに学習した筆算のやり方から理解する。また、商が何の位からたつのかを正確に判断し、筆算で計算できる。</p>	
学 習 活 動	過程 位置	教師の指導・援助と評価規準	過程 位置
<p>1, 問題文を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">750円のクッキーを、1000円出して買いました。おつりは何円でしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかっていることを確認する。 クッキーは750円。 1000円出した。</li> <li>・聞かれていることを確認する。 おつりは何円か。</li> <li>・式を考える。 <math>1000 - 750</math></li> <li>・今までと違うところを見つける。 ひかれる数が4けた 1000</li> <li>・課題を確かめる</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1000から何百何十をひく計算の方法を考えよう。</div> <p>2, 一人学びで計算方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・答えの見当を付ける。 300円より少ない</li> <li>・計算方法を図やカード、式を使って考える。</li> </ul> <p>3, 自分が考えた計算方法を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1000円から700円をひいて、それから50円をひきました。(1000 - 700 - 50)だからおつりは250円です。</li> <li>・1000円を500円二つ分と考えて、500円を先にはらうと750 - 500でたりないのは250円、残りの500円をはらって500 - 250は250なので、おつりは250円になる。</li> <li>・1000円は800円と200円です。この800円から750円をひくと50円、残りの200円に合わせておつりは250円です。</li> <li>・10のかたまりで考えると100 - 75 = 25だから、おつりは10が25個なので250円になります。</li> </ul> <p>4, 1000から何百何十をひく計算方法をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1000から何百何十をひく時は、100のかたまりや10のかたまりにして考えると計算ができる。</div> <p>5, 練習問題で、わかったかどうか確かめる。</p> <p>1000 - 550 (1000 - 640)</p>	<p>問題提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">4の問題を読んで、わかっていることと聞かれていることを見つけましょう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">問題を進んで読み取っているか。：関</div> <p>課題提示</p> <p>1人学び</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1000-750の計算方法を、これまでの学習内容など使って考えているか。：考</div> <p>仲間学び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習リーダーの司会を中心に意見を発表させる。</li> <li>・うまく発表できない子を援助する。</li> <li>・説明のしかたが良い発表を評価する。</li> <li>・付け足しなど、前の意見に関係づけた発表を評価する。</li> </ul> <p>まとめ</p> <p>練習</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1000 - 何百何十の計算方法を、きちんと理解しているか。：知</div>	<p>4の問題を読んで、わかっていることと聞かれていることを見つけましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">問題を進んで読み取っているか。：関</div> <p>今までのわり算と違うところはどこですか。</p> <p>課題を確かめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い考え方をしている子は評価し、考えがつかまっている子には算数コーナーや教科書を手がかりにさせる。</li> <li>・良い考え方をしている子は評価し、考えがつかまっている子には算数コーナーや教科書を手がかりにさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">百の位に商がたたないわり算の計算方法を、これまでの学習内容など使って考えているか。：考</div> <p>今日学習したことをまとめてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">商が2けたのわり算の計算方法を、きちんと理解しているか。：知</div> <p>商が何の位からたつのかを調べてみましょう</p>	<p>練習</p> <p>問題提示</p> <p>1, 復習をする <math>418 \div 2</math></p> <p>2, 問題文を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">347まいのおり紙を5人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいで、何まいあまるでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかっていることを確認する。 おり紙は347まい 5人で分ける。</li> <li>・聞かれていることを確認する。 1人分は何まいか。 何まいあまるか。</li> <li>・式を考える。 <math>347 \div 5</math></li> </ul> <p>課題提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">百の位に商が立たないわり算の筆算の計算のしかたを考えよう。</div> <p>1人学び</p> <p>3, 一人学びで計算方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・答えの見当を付ける。 十の位の商は7より少ない 6になる</li> <li>・計算方法を図や今までに学習した筆算の計算方法を使って考える。</li> </ul> <p>仲間学び</p> <p>4, 自分が考えた計算方法を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十の位から商をたてて、後は2けた÷1けたのやり方と同じでいいと思います。</li> <li>・何百何十÷1けたの時に10のかたまりで考えたので、340と7に分けて考えればわかります。</li> </ul> <p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">5, 百の位に商が立たないわり算の計算方法についてまとめる。 百の位に商がたたない時は、10のかたまりで考えていくと計算ができる。</div> <p>6, 商が何の位からたつのかを同じ被除数のわり算で確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>576 \div 4</math>は百の位に商がたつけど<math>576 \div 6</math>だと十の位にたちます。</li> <li>・百の位の数がわる数より大きい小さいかで商のたつ位が決まります。</li> </ul>

